

GLOBAL MIND

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

グローバルマインド

発行/(学)大阪国際学園総務課
〒570-8555守口市藤田町6-21-57
TEL.06(6902)0787(代)
FAX.06(6902)8961
Eメール koho@oiu.ac.jp
http://www.oiei.jp/gm/

CONTENTS

- 西安思源学院と協定校に(2面)
- 地域交流プロジェクト
「ひと・まち・であう」「遮熱性塗装」(4面)
- ひと～人間科学部 井上芳光教授(8面)

大阪国際大学(OIU)枚方キャンパス TEL.072(858)1616(代)
守口キャンパス TEL.06(6902)0791(代)
大阪国際大学短期大学部(OIC) TEL.06(6902)0791(代)
大阪国際滝井高等学校(OITH) TEL.06(6996)5691(代)
大阪国際大和田高等学校(OIOH) TEL.06(6904)1118(代)
中学校(OIOJ)
大阪国際大和田幼稚園(OIOK) TEL.06(6902)7329(代)

独白

大阪国際学園
理事長 奥田吾朗

「一瞬の大切さ」

あの時、こうしておけばよかった！人はだれもこんな思いを大なり小なり持つていないのではないかと。そんな思いを次の行動のステップにして、新たな人生を切り開いていく人も多い。

教育に携わっていて、特に感じるのが、子どもを相手にしたときだ。子どもたちの日々は、おとな以上に瞬間、瞬間がその子の人生を左右するほど大きな重みがあるのではないだろうか。私たちおとなは、そのことをどれだけ真剣に考えているか。日常に慣れて、情性的に子どもと接していることはないだろうか。

数年前、「KY」という言葉が、新語・流行語大賞にエントリーされ、ブレイクしたことがある。「空気を読めない人」の意味で使われていた、いままも使うことはある。「場の雰囲気、状況を察することが、どれだけ大切かを改めて考えたい。

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」。鴨長明の方丈記の書き出しだが、まさに同じ時間は二度と訪れない。子どもたちの日々、その時々合った適切なことばをかけ、対応することが、その子にとって、どれほど大事か。ともすれば忘れてしまいたいようなことに、神経を研ぎ澄ましたい。

大学・短大の同窓会が統合し、さらに母校の発展に貢献できる体制に8月22日、統合同窓会発会記念式典・祝賀会を開催



記念式典で、初代会長である廣谷康子さんが、母校の発展を願い挨拶

大学・短大の同窓会組織、「大阪国際大学同窓会」(なでしこの会)「女子大」(羊帝会)「短大」は、今期、統合し、「大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部統合同窓会」として、再出発することになった。初代会長は、同窓会活動の活性化を牽引してきた、羊帝会会長 兼 統合同窓会会長の廣谷康子さん。統合後、会員総数は約38000名となる。昨年、同窓会は連合体として、学園創立80周年記念事業で中型バスや吹奏楽器など約4800万円相当の現物寄附を行った。統合後は、さらにスケールメリットを活かし、母校の永続的な発展に貢献したいとしている。

8月22日に開催された発会記念式典・祝賀会には、卒業生・恩師・在学生など関係者300名が集い、盛大にお祝いをした。式典は、「なでしこの会」の発会40周年も兼ねて実施された。会の司会進行は、帝国女子大学家政学部卒業生で現在ラジオのパソナリテイなどで活躍中の對馬京子さん。式典は3部構成で、第1部では、奥田吾朗理事長や倉田三郎学長の祝辞の他、短期大学部朝倉洋教授の指揮による吹奏楽部の演奏や、大学 縄田文子教授の指導による在学生のファッションショーが行われた。第2部は、JET日本語学校理事長の金 美齢氏をお招きし、「21世紀を迎えて、母から子どもへ、孫たちへ時代が変わっても、変わらない大切なもの」と題した講演が行われた。第3部の懇親会では、卒業生と恩師によるレ



懐かしい思い出に、大いに湧き上がる懇親会場



朝倉洋教授の指揮による吹奏楽部の堂々たる演奏。楽器は同窓会から寄附されたもの



ファッション部の在学生によるファッションショーが華を添えた



学園発展への想いを託し、同窓会から多大な現物寄附

6年目を迎えた学生チャレンジ制度 ことしは最高7件の企画を選定

学生の自主的な取り組みを支援する学生チャレンジ制度「Challenge The Global Mind」は、2010年度、これまで最高の17件の応募の中から7件が選ばれた。6年目を迎えたこの制度は、学生の意欲的な取り組みを支え、しっかり定着させている。

今回選ばれた企画は、「カンボジアの子どもたちに通学カバンを送ろう」(写真1)、「Fair Trade in Summer Island」(産学官民連携 子育て応援イベント たすけあい笑顔の子育て) (写真2)、「オープンキャンパスのイベント企画(写真3)」「歌づくり」による「人づくり・まちづくり」(受験生応援ソング)、「好きやねん枚方長尾ソング」(二人ひとりの心掛けでキャンパスをきれいに マナーを守って地域からも愛される大阪国際大学へ)の6件と「同窓会特別賞」とされた「VIVA★子どもスポーツ大会」。

毎年、10件前後だった申請は今年度は一気に17件と大幅に増えた。「Fair Trade」は、ESS部の企画で、「発展途上国の人たちの経済的支援で何か出来ないか」との発想から、途上国から製品を買って、適切な価格で販売するために、フィジー島で製品を購入し、帰国後、オープンキャンパスなどで配布する。

「カンボジア」は、研修旅行でカンボジアへ行った体験をもとに、カンボジアの子どもたちに通学カバンを作って送るといふ取り組み。

これまでの多くの企画はそのとき1回の取り組みで終わっているが、継続的な取り組みになっているケースもある。



11月末に手作りの通学カバンをカンボジアの小学校に届けた(写真1)



オープンキャンパス時のイベント企画「ウォンテッド!」は来場した高校生たちの話題となった(写真3)



枚方キャンパスで開催された「親子ふれあいフェスタ」(写真2)

西安思源学院と協定校に



▲学生総数2万5千人。広大なキャンパスには11学部の研究棟群がある(上)
▶コンピュータ室風景。中国の発展、経済成長を支える人材育成のため理工系や経済マネジメント分野などに豊富な資源を投入する(右)



本学、日本で初 7月に協定締結

特に理工系に強味持つ

12カ国25大学 学術交流を推進

平成22年7月6日、新たな協定校として、西安思源学院と学術交流の文書が取り交わされました。

多彩な人材養成、11学部

西安思源学院は、中華人民共和国教育部に認められた1998年創立の私立大学で、中国内陸部陝西省の省都西安市に位置しています。西安市は、現在中国西部最大の都市で、また世界遺産として有名な秦始皇帝陵(しんしこうていりょう)や兵馬俑坑(へいばようこう)が近郊にあることから、ヨーロッパを始め世界中からの観光客で年中賑わっています。日本では「長安」として、かつての奈良の都平城京造営の原型とされた都といったほうが馴染みがあるかもしれません。

その日本とゆかりのある西安市の高台に位置する西安思源学院は、枚方キャンパスの約12倍の校地面積を有し、総勢2万5千人の学生が学んでいます。

「日本語集中コース」新設 来年度から外国人留学生を対象

国際コミュニケーション学部は、外国人留学生の日本語能力を高め、就職など日本での生活を確実に続けられるようにするため、2011年度から、日本語インテンシブ(集中)コースを設置する。

入学した学生が、授業に対応

奥田政三教育 研究員金澤孝子

(敬称略)

- ▽大学・短大 海外協定校長期派遣留学「中遠東師範大学(9月)23年7月」張 盼盼▽玉宅美咲子(以上国際コミ2)▽「中 東北大学(9月)23年7月」吉田和生▽築地大輔(以上同2)▽「中 浙江万里学院(9月)23年7月」松田章宏▽佐藤将平(以上同2)▽「台湾 中国文化大学(9月)23年6月」武石貴恵(同2)
- 夏期海外研修「豪 GIBA英語

す。巨大な学部・研究棟群や学生全員を収容することができ、学生寮が、緑豊かな敷地に配置されています。

学生は、技術やエンジニアリング等の理工系学部、経済や経営等の社会科学系学部、外国語や教育スポーツ等の人文系の学部総数11学部で日夜勉学に励んでいます。同じ西安市にある、中国政府が定めた理工系重点大学のひとつである西安交通大学から資金や人材の支援を受けていることから、特に理工系に強みを持っています。国の発展と経済成長を支える人材を輩出するべく、経済・

経営・マネジメント分野の教育にも豊富な資源を投入し、新しい学生を多く集めることに成功しています。

西安思源学院の国際交流は、創立以来わずか10数年の間に、北米、ヨーロッパ、オセアニア諸国、ロシア、インドなど世界12カ国25大学との国際交流協定締結という形で積極的に推進されており、そのうちカナダの大学とは、初めてダブルディグリーの学位取得が可能)をスタートさせています。日本の大学との国際交流協定の締結は本学が初めてで、これを機に西安思源学院は、本学の学部や留学生別科へ学生を派遣できることを期待しています。

開講する科目は、習熟度から2段階に分け、①読み書き話す聞くの4技能の習得②日本語文庫の読解能力の養成と作文能力、プレゼンテーションできる力の修練③卒業論文の執筆やビジネス日本語の習得などを目標にする。日本語の学習は、これまでと比べると、週5コマから9コマと、4コマ増える。1年コースと2年コースに分け、2年コースは基本的に上級クラスで、成績の優秀な人で構成する。

の留学生も受講できる。

- 研修(8月20日)9月11日)森本怜奈▽兼井美音(以上国際3)
- ▽杉 美都留▽金丸麻美(以上同2)▽「豪 海外インターンシップ研修(8月20日)9月11日)有田真弓(同3)▽周 津(経営情報4)▽牧窪仁菜(ライフデザイン1)▽「カンボジア ボラントニア・ワークキャンプ研修(8月19日)8月30日)吉村篤史(国際コミ4)▽市来めぐみ(幼児保育1)▽長尾充将(国際コミ1)▽「モンゴル 日本語教員アシスタント研修(8月28日)9月17日)瓦谷由貴▽岩原知子(以上心理コミ4)

直言

NHKの大河ドラマ「龍馬伝」が完結しました。終盤の、明治政府の新国家体制の基本方針となった「船中八策」を龍馬が書き上げているシーンを



読書のすすめ

株式会社紀伊國屋書店 専務取締役 中江 正弘

進出、国内では当時の常識を超えた500坪の大規模出店は、大きな志ある挑戦でした。御蔭さまで店舗は国内65店、海外24店 営業所は国内30営業所 海外5営業所を展開できるようになりました。2代目会長

「龍馬がいく(司馬遼太郎著)」を大学在学中に読み印象深く心にとどめていました。それは「龍馬の志」にあったように思います。それからすっかりファンになりました。紀伊國屋書店は昭和2年に初代会長田辺茂一が創業しました。特に昭和40年代のアメリカ

松原は、姿勢は低く、志は高く、と熱く語ります。今年は「国民読書年」にあたり、平成20年の国会決議をうけての読書推進を国をあげて進めていく年にあたります。読書は、時を超えた旅である。と

「継続は力なり」という諺があります。読書の継続は学力向上を必ず後押しします。未来は自分でつくるものです。書物の森の中へ探検にかけましょ。と



村上 彩実

教師になる目標手にし 異文化交流の大切さを修得

サンディエゴで過ごした日々は、一言では表せない程とても充実していました。現地の学生達の勉強に対するモチベーションに圧倒されつつ、彼らと共に授業を受け、ディスカッションやプレゼンテーションまで様々な事を行いました。中間・期末試験期間中は週末・昼夜問わず図書館で猛勉強しました。仲間の協力と努力の末、私は1単位も落とすことなく帰国し、大きな達成感を味わいました。

また、現地で「児童日本語講師」としてインターンシップにも参加しました。この経験は私の将来の目標に大きな変化をもたらしました。教えることの大切さと子ども達と接することの楽しさを学び、将来「児童英語教師」になりたい、という目標を手に入れました。留学経験を通じて痛感した、異文化相互理解とコミュニケーションの大切さ・楽しさを次世代の子ども達へ伝えたい。そして子ども達に、私が感じた以上の達成感を得て、将来に向き合って欲しい、という熱い思いで生徒達と向き合い、慕われる先生になりたいです。

この留学経験により、今後に向けての目標とコミュニケーションの意義を学びました。海外に出たからこそ学べたものがたくさんあり、とても実りの多い留学生活でした。

(2009年8月から2010年5月まで米国・サンディエゴ州立大学へ長期交換留学)

留学・研修レポート

勉強が大好き 大学院めざし頑張りたい

大阪国際大学ビジネス学部経済ファイナンス学科 3年次生 SOPHILAVANH KHAMSOUK

2007年4月から日本留学を始め、日本に住んで3年間が過ぎた。日本の観光部門と経済関係が大好きで、それが高じてここまで来てしまった。日本は蒸し暑い、冬も寒い。街は人が多いが、キレイなのは皆が規則を守るからだ。なんといってもやはり、私は日本の学校での生活、教育の便利さに満足している。例えば、大学では様々なスポーツクラブがあり、勉強の参考にできる本も図書館に十分にあるのだ。私は勉強が好きで図書館に行ったら欲しい本が手に入るのが楽しくてたまらない。最初は専門学校に通っていた。専門学校では実習が重要でかなり経験が得られた。日本語能力試験1級もそのときに合格した。

勉強といえば、私は大阪国際大学に入ってからたった半年だが、編入生のためほかの学生より2、3倍ぐらい勉強しなければならぬ。とはいえ、大学の推薦で奨学金ももらっているし、今年から始まった日本語能力試験N1を目指す留学生を育成する大学のプログラムに、特別に参加させていただいている。1回目で1級に合格したが、もっといい点数を目指し、大学院への勉強も頑張りたいと思う。

(2010年4月から編入学。ラオス出身)

ヘッドラインニュース

- 2010年(平成22年)
- 4/7 大学<校方> 経営デザイン学科、経済ファイナンス学科、法律政策学科フレッシュマンキャンプ(8)
- 4/9 大学 公式クラブ情報サイト「OIU Club」オープン
- 4/9 大和田高 スーパー理数コース新入生オリエンテーション合宿(〜10)
- 4/10 滝井高 中学生対象「管楽器奏法クリニック」(〜11)
- 4/11 滝井高 大阪府立少年自然の家で新入生の一泊研修を実施(〜12)
- 4/19 大学<校方> 権藤俊光さん(経情4)、2010年イタリア選手権ロードレースGP125第1戦 3位に入賞
- 4/23 大学<守口> FM-HANAKO(82.4MHz)「もりかど探偵団」行行列集」で、心理コミュニケーション学科石井滋教授が行列に関する心理についてコメント
- 4/27 大学<校方> 法律政策学科3年次生・法政経済部4年次生を対象にアフガニスタンやシエラレオネなどにおける国連活動に実績を持つ奥村礼子氏が特別講演
- 4/27 学園 別役恭子氏、油谷純子氏に名誉教授称号を授与
- 4/30 滝井高 春の遠足 1年「北淡震災記念公園」2年「奈良県明日香村」3年「京都東山」
- 4/30 大和田高 校外学習 1年「京都」2年「南京町・北野」3年「神戸ハーブ園、布引の滝、須磨海浜水族園」
- 4/30 大和田中 春の遠足 1、2年「琵琶湖博物館」3年「氷室の郷」
- 4 大学 ヘッドスピワールド記録保持者の大野愛地さん(国際コミ4)、マッスルミュージカル出演
- 4 短大 海外インターンシップ(カナダ3/1〜20)実施報告
- 4 大学<校方> 学生によるスクールバスプロジェクトが長尾駅からのスクールバス運行を開始
- 4 大学<校方> 生命保険文化センター職員による実学講座開催(全5回)
- 5/1 滝井高 軽音楽部が新入生歓迎ライブ
- 5/7 大学<校方> FM-HANAKO「もりかど探偵団」5月7日は「博士の日」博士について調べよう」に、大学院経営情報学研究所の井上市郎教授と同研究科経営情報学専攻博士後期課程2年の黄婕さんが出演
- 5/4 大学<校方> 「スマイルプロジェクト」苗育りに取り組む
- 5/5 滝井高 黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会で宮下遥選手(1)が若鷲賞受賞
- 5/12 幼稚園 劇団「クラレテ」による人形劇を鑑賞(写真)
- 5/15 大和田中高 PTA総会
- 5/15 大学<校方> 情報デザイン学科フレッシュマンキャンプ
- 5/23 短大 ライフデザイン総合学科「セミナーII」(担当 久保由加里講師)で神戸空港研修を実施
- 5/23 滝井高 宮下遥選手、テレビ朝日「速報!スポーツLIVE」に出演
- 5/27 短大 卒業生の久保由美さん(1985年短大卒)、自閉症患者のコミュニケーションソフト「Voice4u」を開発で日本テレビ「NEWS ZERO」に登場
- 5/28 大学<校方> 地方自治体職員によるリレー講座開催
- 5 大学<守口> 国際コミュニケーション学部 宇山博教授、韓国 慶尚北道 浦項市日本人政策諮問委員に就任
- 6/3 大学<校方> 韓国・三商業高校が訪問
- 6/6 大学<校方> スマイルプロジェクトが地元で田植え(〜7)
- 6/6 滝井高 撫子会(同窓会)総会
- 6/6 滝井高 NHK杯全国高校放送コンテストへ初出場
- 6/8 大学<校方> 経済ファイナンス学科 三井住友銀行による寄附講座開催(22、7/6)
- 6/8 大学<守口> 歌手でマラソンランナーの高石ともや氏招き心理コミュニケーション学科講演会
- 6/8 大学<守口> 猿まわし師招き「エンターテイメント論」
- 6/10 大学<校方> 経済ファイナンス学科「保険年金」で日本損害保険協会による実学講座開催(17、24)
- 6/10 大学<守口> 大 アフリカ南部の黒人音楽家を支えるジャナグルアートセンターの高橋朋子さんを招いて人権講演会(写真)
- 6/11 大学<短大> FM-HANAKO(82.4MHz)「もりかど探偵団」「ワールドカップ」特集に、ビジネス学部経営デザイン学科 Stephen Hattingh准教授と女子サッカー部らが出演
- 6/12 大学<校方> 「ボランティア活動」第一回事前研修会
- 6/15 大学<校方> NSCお笑いライブ開催
- 6/15 大学<守口> 心理コミュニケーション学科「エンターテイメント論」で和泉修客員教授が講演
- 6/15 滝井高 「総合的な学習の時間」で学習成果を発表
- 6/16 大学<守口> 国際コミュニケーション学部 杉原和雄教授がNHK奈良放送局「ならナビ」の「御所市巨勢山古墳群のゴルフ場工事による損壊跡跡」に出演
- 6/19 大和田高 フォークソング部ライブ
- 6/24 大学<校方> 法律政策学科 依田博嗣教授が京都新聞で「選挙戦の展望・争点」(6/24)「不況下の久御山町政の課題」(6/26)語る
- 6/29 大学<校方> ニンテンドーDSによる就活支援、日経産業新聞に掲載
- 6/29 滝井高 アメリカの高校より生徒が来校
- 6 大和田高 野球部が創部〜全国高校野球選手権大会に出場
- 6 大学 台湾の協定校 立徳大学の学報「立徳簡訊」1面に本学との調印、倉田三郎学長訪問の記事が掲載
- 6 大学<守口> 卒業生の佐々木唯さん、「エンゼル堺2010」に選ばれ活躍中
- 7/1 短大 幼児保育学科「保育内容の研究 幼児の健康」の学生がバクバク人形の発表会(5、6)
- 7/1 大学<短大> 「留学生新聞」国際交流センターが創刊
- 7/2 大学<守口> 心理コミュニケーション学科1年次生の神田佐智江さん、朝日新聞の「声Voice」に投稿が掲載
- 7/3 滝井高 コース別保護者懇談会
- 7/5 大学<守口> 卒業生の後明美さん(家政科1980年卒)が写真展「どうぶつえん Part 2」を開催(〜30)
- 7/5 滝井高 オーストラリアからの留学生フェアウェルパーティー
- 7/8 大学<校方> ビジネス学部 宮内俊男客員教授(株式会社ミウラ代表取締役)による講演会
- 7/10 短大 ライフデザイン総合学科「地域と観光演習」(担当 富本一幸非常勤講師)でフィールドワーク「守口・門真探検隊」を実施
- 7/12 大学<守口> 夏期日本語研修プログラム実施(〜23)
- 7/12 滝井高 国際科・カナダ語学研修(〜16)
- 7/13 大学<校方> 和泉修客員教授による特別講演開催
- 7/13 学園 教職員表彰、大和田中学バレーボール部 木村正章顧問(監督)、平田真澄コーチと幼稚園の赤木俊夫幼稚園バス運転手兼校務員を表彰
- 7/14 大学<短大> 「Voice4u」開発の卒業生・久保由美さん招きビジネス学

- 7/15 大学<守口> 部・現代社会学部卒業生講演会を開催(〜15)
- 7/15 大学<守口> FMひらかた77.9MHzの番組「Suzanka's Afternoon Tea」に留学生別科生のエスラ・ドゥバルさん出演中(22、29、8/12、19)
- 7/15 滝井高 茶道部がお茶会開催(〜16)
- 7/16 滝井高 FM-HANAKO(82.4MHz)「もりかど探偵団」「がんばれ!ティーンエイジャー☆」特集にフェンシング部が出演
- 7/17 大学<校方> 有名スペイン人コーチ・ジョアンサルバンス氏によるサッカークリニックをオープンキャンパスで開催
- 7/17 大学<校方> 卒業生の孟方(モンファン)さん、「外国にルーツを持つ子どもの権利を考える学習会」で講演
- 7/19 大和田中・滝井高 全日本代表に選ばれた宮下遥さんがFNNスーパーニュースアンカー(関西テレビ放送)に登場
- 7/20 滝井高 サラ・ディクソンさん(アメリカ人留学生)フェアウェル・セレモニー
- 7/22 大学<校方> 大学院総合社会科学部 国際政経専攻経済コース修士論文中間報告会を実施
- 7/24 大和田高 大塚国際美術館見学会
- 7/25 大学<短大> 体育会主催の新入生歓迎会・五月祭
- 7/26 大学<校方> キャンパスライフクリエイター主催 AED講習会開催
- 7 大学<校方> 留学生の王培宇さん(大学院経営情報学研究所2)、関西生産性本部機関誌「KPCNEWS」7・8月号に掲載
- 7 大学<校方> ニンテンドーDSを使った就職支援プログラム、「サンデー毎日」で紹介
- 7 大学<守口> 短大 体育会が清掃活動
- 8/1 滝井高 第1回ソフトボール部クラブ体験を実施
- 8/21 大学<短大> 合唱部、守口老人保健施設ラガールでひまわりコンサート
- 8/26 滝井高 軽音楽部が門真市の保育園を訪問し演奏会(写真)

- 8/28 大和田中・高 山口絵理子氏による人権教育講演会
- 8 大学<短大> ソフトボール部から日本代表入り決定 林仁美さん(スポーツ行動4)が第3回世界女子大学ソフトボール選手権大会に出場する女子大学日本代表選手の17名に選出。久保田豊司顧問も女子大学日本代表コーチに就任
- 8 大学<校方> 現代社会学部情報デザイン学科「エンターテイメント産業論」でゲーム開発者向けカンファレンス「CEDEC 2010」を見学
- 8 大学<守口> 森崎(ひなた)さん(スポーツ行動1)、女子ラグビー日本代表候補としてリオ五輪めざし活躍中
- 8 短大 卒業生の深代里子さん(短大英文科1968年卒)、わが国最大規模のアマチュア美術展「サロン・デ・ボザール展」に選出
- 9/1 大学<校方> 法律政策学科の安保克也ゼミ生がアサヒビル吹田工場で企業研究と大阪地方裁判所を見学
- 9/2 大学<守口> スポーツ行動学科 井上芳光教授がNHK「クローズアップ現代」「新たな災害」熱中症の脅威」でコメント
- 9/4 大学<校方> 法律政策学科生が国会議事堂を見学
- 9/10 大学<校方> 国会議員・行政書士事務所のインターンシップ開始
- 9/10 大学 留学生別科2010年度後期入学式
- 9/13 大学<校方> 情報デザイン学科フレッシュマンキャンプで、コース毎に「ものづくり」(写真)(〜14)

- 9/16 短大 ライフデザイン総合学科「セミナーII」(担当 久保由加里講師)にて日本文化理解のためのフィールドワークを実施
- 9/21 大和田中・高 交通安全キャンペーンで、パナソニックバレーボールチームよりサインバレーボール「目指せ交通安全アタックV」が授与(写真)
- 9/22 大学<校方> 卒業生で小説家の根本孝思さん(経営情報2000年卒)、角川書店のキャラクター小説誌「ノベルアクト」創刊号に執筆
- 9/28 大学<校方> 経済ファイナンス学科 野村証券(株)による金融教育講座開催(全12回)
- 9/28 大和田高 高2学年大学模擬授業
- 9/30 大学<短大> 「交通死亡事故ゼロを目指す日」の広報啓発キャンペーンで体育会の学生20人が守口警察署に協力
- 10/2 大学<校方> 法律政策学科 谷口真由美講師、「日本女性会議2010きょう」とパネルディスカッションのコーディネーターに抜擢、京都新聞に登場
- 10/2 大学<校方> インターンシップ事後研修
- 10/4 学園 理事・監事・評議員の授業見学を実施(5、6、8)
- 10/5 大学<短大> 倉田三郎学長、松山市議会水資源対策特別委員会の勉強会に専門家として招かれる〜愛媛新聞に記事掲載
- 10/6 大学<守口> 人間健康科学科 殿谷成子准教授ゼミ・伊藤知子教授ゼミが守口保健所と協同でHIV予防啓発プログラムを実施(13)
- 10/6 滝井高 国際科1・2年生による第1回英語スピーチコンテスト
- 10/9 大学<校方> スマイルプロジェクトが福刈り(11、16、17)
- 10/9 大和田中 中学校体験学習会
- 10/10 大学<校方> スマイルプロジェクト、「ふとん大鼓進行」の御神輿担ぎに参加
- 10/10 大学<守口> ヘッドスピワールド記録保持者の大野愛地さん、フジテレビ秋の特番「チョイスリー」に出演
- 10/11 大和田中・高 プラスバンド部、ラブリーフエスタ'10に出演
- 10/19 滝井高 「第1回全校読書感想文コンクール」各学年最優秀者を表彰
- 10/22 短大 ライフデザイン総合学科 水野勝政教授に短期大学教育功労者表彰
- 10/23 大学<守口> 守口市立北部公民館風呂敷講座講師に高橋尚美非常勤講師
- 10 大学<校方> 卒業生・根本孝思さんの小説「THE QUIZ」が第4回啓文堂書店おすめ文庫大賞 最終候補作フェアにノミネート
- 11/6 滝井高 中学生対象「国際科1日体験入学」を実施
- 11/20 滝井高 中学生対象「管楽器奏法クリニック(公開指導会)」を開催(〜21)

「チェリッシュ」コンサート

第24回 奥田メモリアルフェス



磨きのかかった歌声で会場を魅了したチェリッシュの2人

心温まる感動

満員の会場包む

24回目を迎えた奥田メモリアルフェスは、11月19日、守口キャンパスの奥田メモリアルホールで開催された。開かれた学園づくり、地域交流プログラムの一環として、一般市民を招き、文化・芸術イベントを愉しんでいたところと始まった催しで、地域の恒例行事として定着している。今年も近隣住民の方と一般公募のあわせて約800人を招待した。

今回は、「てんと虫のサンバ」などの大ヒット曲で親しまれている「チェリッシュ」を招いてのコンサート。チェリッシュは、1968年に5人グループとして活動を開始し、1971年に名曲「なの

近隣の住民を招いて

寄せられた志 地域交流資金に

「あなたたちは京都へゆくの」でデビュー。翌1972年にデュエットとなり1973年には「てんと虫のサンバ」が大ヒットをおさめた。この年、レコード大賞歌唱賞など数多くの賞を受賞、NHK紅白歌合戦

大阪から世界へ アジアの市場に挑戦

第23回国際シンポジウム

大学・短大国際関係研究所主催の第23回国際シンポジウムが11月6日に開催された。毎回同時勢にあつた国際的なテーマで、第一線の講演者を招いて好評を得ている。今回は「大阪から世界へ」アジアの市場に挑戦する」と題し、ダイナミックに変化

活発な議論展開

するアジアと日本の関わりをビジネス、特に食料業界に焦点をあてて、各方面から議論が合った。ホテルニューオータニ大阪の会場は、約600人の一般市民、企業関係者らで満席となり、熱気に包まれる中、リレー講演とパネルディスカッション



白熱した意見交換で、会場は熱気に包まれた

にも初出場した。活動歴40年の2人は「永遠のベストカップルデュオ」と呼ばれ、今回も「いつくしむ・愛」をテーマに磨きのかかった歌声でヒット曲の数々を披露した。満席の観客席は、心温まる感動

が行われた。リレー講演では、白ハト食品工業株式会社代表取締役社長 永尾俊一氏が「上海万博 たこ焼き奮闘記」、サントリホールディングス株式会

社 経営管理本部長 瀧井泰氏が「アジアビジネスとサントリ」と題して、それぞれの海外事業展開について紹介。続いてパネルディスカッションでは、両氏に加え経済ジャーナリストで経済政策シンクタンクハーベイロード・ジャパン副代表の内田裕子氏と本学学長補佐の北川俊光大学院教授が参加。司会進行には千葉商科大学大学院教授で東京大学政策ビジョン研究センターアドバイザーの宮崎緑氏を迎えた。永尾・瀧井両氏の紹介する展開例にに対し、内田氏は中国ビジネスの成功ポイントについて述べ、北川学長補佐は法務、国際商取引の視点から、会社利益をあげるための経理の重要性について指摘するなど、白熱した議論が展開された。

平成23年度 入試日程

選考種別	出願期間(締切日消印有効)	選考日
二次 経営情報学研究科 総合社会科学 経営情報学研究科 博士(後期)課程	1月22日(土)~2月2日(水)	2月12日(土)

選考種別(略称)	出願期間(締切日消印有効)	選考日
一般 A 日程	1月6日(木)~1月17日(月)	1月22日(土)・23日(日)
A O 選考 6 期 センター利用 I 期	1月6日(木)~1月31日(月)	1月23日(日)
一般 B 日程	1月21日(金)~1月31日(月)	2月5日(土)
一般 C 日程	2月1日(火)~2月14日(月)	2月19日(土)
A O 選考 7 期 センター利用 II 期	2月21日(月)~2月28日(月)	3月4日(金)
一般 E 日程	3月7日(月)~3月14日(月)	3月19日(土)
A O 選考 8 期 センター利用 III 期	-	-

選考種別(略称)	出願期間(締切日消印有効)	選考日
内部編入 II 期	1月6日(木)~1月17日(月)	1月23日(日)
内部編入 III 期	2月1日(火)~2月14日(月)	2月19日(土)
一般編入 II 期	-	-
社会人編入 II 期	-	-
転入学 II 期	-	-

選考種別(略称)	出願期間(締切日消印有効)	選考日
一般 A 日程	1月6日(木)~1月17日(月)	1月22日(土)・23日(日)
A O 選考 6 期	1月6日(木)~1月31日(月)	1月23日(日)
センター利用	1月6日(木)~1月31日(月)	-
一般 B 日程	2月1日(火)~2月14日(月)	2月19日(土)
一般 C 日程	3月7日(月)~3月14日(月)	3月19日(土)
A O 選考 8 期	-	-

上記出願期間については、期間最終日が金曜日の場合は翌月曜日、それ以外の曜日の場合は翌日に限り守口キャンパス持ち込みのみ受け付ける。
留学生の入試選考については入試・広報部までお問い合わせ下さい。

出願期間	選考日	
大阪国際 滝井高等学校 普通科 体育・吹奏楽コース 国際科 体育・吹奏楽コース 国際科	1月24日(月)~1月31日(月)	2月10日(木)・11日(金・祝)
大阪国際 大和田高等学校 普通科 スーパー理数コース 理数コース 英数コース	1月24日(月)~2月1日(火)	2月10日(木)・11日(金・祝)
大阪国際 大和田中学校 一次	平成22年12月16日(木)~ 12月24日(金) 1月8日(土)~1月13日(木)	1月15日(土)
大阪国際 大和田中学校 二次 A	平成22年12月16日(木)~ 12月24日(金) 1月8日(土)~1月15日(土)	1月16日(日)
大阪国際 大和田中学校 二次 B	1月8日(土)~1月20日(木)	1月20日(木)

大阪国際大学 編入学

大阪国際大学 短期大学部

高校・中学校

大学・短大 入試状況 平成23年度 中間報告

大学・短大では、平成22年度入試の反省を踏まえ、平成23年度入試では個人の特性を活かした特別推薦の中に「資格・活動実績」を追加しました。
高校時代に取得した資格やポ

「資格や活動実績」評価対象に

個人の特性を重視

海外留学、ボランティアなど

また昨年度から実施している特別推薦「スポーツ」も10月の選考に加え、3年生のクラブ活動がほぼ終了する12月にも選考を実施します。
さらに、地方から本学をめざす受験生には「家賃補助制度」を導入し、入学年度だけではあるものの、経済面での支援を行うなど、平成23年度入試の施策は、個人の多様性を評価する入試のラインアップとなりました。

広報展開では、受験生個人に3月のオープンキャンパス告知のダイレクトメールの発送を皮切りに、4月下旬には大学案内を含む入試資料の送付や遠隔地の受験生には「家賃補助制度」のチラシ、さらに本学の体育会クラブの活躍を掲載した冊子「Sports」を発行と、きめ細かい情報提供で本学の魅力を伝えました。

高校教員向けには4年ぶりとなる本学主催説明会を2回実施。本学在学学生による学部学科説明など新しい切り口で本学を紹介し、高校教員からも高い評価をいただきました。
さらに本学周辺の地元高校を頻りに訪問し、高校の状況や進路動向の情報収集に努めました。

家賃補助制度を導入

遠隔地の受験生に

来場者の満足度も上々

オープンキャンパス/オープンスクール開催

多彩な企画、工夫凝らす

◆大学・短大
昨年度を大幅に上回る入場者記録
大学・短大では、6月から9月にかけて、7回のオープンキャンパスを

実施した。今まで枚方・守口キャンパスごとに、別々の日時を設定していたが、「違うキャンパスも見たい」という受験生の声に応え、今年度から同日に両キャンパス同時開催で実

施することになった。キャンパス間にはバスを走らせ、1日で両キャンパスを体験できるといふ新しいシステムに受験生の評価も上々で、2つのキャンパスで希望する模擬授業を受ける



今春完成したマルチメディアスタジオで、最新鋭の機器による映像クリエイティブの解説に聞き入る高校生(6月19日、枚方キャンパス)

学科ブースでは個別に様々な質問、相談にわかりやすく丁寧に応じた(6月19日、守口キャンパス)

来場者の姿も見られるなど、満足度の高い内容となった。併せて各学科がイベントに工夫を凝らし、結果として夏のオープンキャンパスは、昨年度を157人上回る2816人の入場者数となった。

◆滝井高校

国際科1日体験入学も
滝井高校では、8月、10月、11月に各1回オープンスクール

を行った他、中学生対象に「ソフトボール部クラブ体験」や「学校見学会」管楽器奏法クリニック「国際科1日体験入学」など、様々な形で高校生生活を知れる機会を提供した。

また、新しい取り組みとして保護者を対象とした「学校見学会」も実施した。

◆大和田高校

各教科の入試対策講座
大和田高校では、9月にオープンスクールを実施し、こちら

も昨年度を上回る283人が来場した。各教科の入試対策講座に真剣に取り組み、授業やクラブの体験に参加した。

◆大和田中学

英会話やクラブ体験
大和田中学でも7月にオープンスクールを開催、70人が手作

り体験や英会話、クラブ体験などで学校の雰囲気を知った。また、入試問題の解説などを行う体験学習会が、10月に行われ56人の参加があった。



「滝井高生によるなんでも相談コーナー」では、生徒たちが生の声で、中学生からの相談に応じて大好評だった(8月28日、滝井高校オープンスクール)

ネイティブの先生にちよび緊張する英会話授業体験(9月18日、大和田高校オープンスクール)

入試問題の解説に、真剣に聞き入る小学生たち(10月9日、大和田中学体験学習会)

大卒の内定“苦戦”、短大は健闘

キャリアセンター中間報告

多彩な「一面倒見のよさ」で、就活支援も

リーマンショックから2年、日本経済の回復の兆しは未だ見えず、学生の就職活動にも大きな影を落としています。採用を凍結している企業も将来の自社の核となるべき新卒の採用はおろそかにできないと分かっているながらも、目の前の問題を優先せざるを得ないのだと思います。

不況、企業が採用尻込み

業界・企業研究不足も一因

平成22年9月末の大学の就職内定者は1711人(昨年度比-31.0%)、短大は61人(昨年度比+1.7%)となっています。大学の落ち込みが大きくなっています。これは当初から就職戦線が厳しくなることが予想されたにも拘らず、基本的な自己PR、業界・企業研究が不十分であった



本学主催企業セミナーの様子。企業と学生のマッチングのヒット率が上がっている。



キャリアセンターでの面談では、学生一人ひとりにきめ細かなカウンセリングを行っている。

就活状況は...? 学生生活は...? 個人面談や情報交換 就職留年打破、講演会も

大学・短大で、今年度も9月に保護者懇談会が開催され、就職や学生生活などさまざまな内容で大学の取り組みを紹介し、また個人面談などで保護者と情報交換の場が設けられた。枚方キャンパスでは、9月11日に行われ、計84人の保護者が参加した。守口キャンパスでは、12日に行われた。2部構成で、第1部の就職説明会には大学111

人、短大42人、第2部の学科別教育懇談会及び面談には大学132人、短大53人の保護者の参加があった。キャリアセンターでは厳しい就職状況に対する情報提供として「今年度の就職・採用状況と次年度の予測」就職活動に打ち勝つために」と題して外部講師を招き講演会も行った。終了後のアンケートでは、「少人数のセミナーで身近に学生と

キャリアセンター 土曜日開室を実施

厳しい就職環境に鑑み、さら

接していただいている様子を伺え安心した」「今日来て娘と話す内容が深くなるように思う」などの感想が寄せられた。

また、「就職の話が多いが、セミナーの内容や個人懇談にも、もっと重点を置いてほしい」「資格をどんどんとってほしいので、大学側からも助言がほしい」など様々な要望も寄せられた。



力、機密書類のデータ入

に学生の就職活動支援を強化するため、キャリアセンターでは土曜日開室を実施。守口・枚方両キャンパスとも専任職員とカウンセラーの2人体制で、学生の相談等に対応している。開室予定日 10月23日から23年3月31日までの第2、第4土曜日(春休学期間は毎週) 開室時間 9時~15時

卒業後3年は新卒の扱いをするなど、新しい制度も整備されつつあります。本学も「一面倒見のよさ」を標榜し在籍期間延長

インターンシップに参加して

民主党大阪府第16区総支部 衆議院事務所 ビジネス学部経営デザイン学科 3年次生 山本 理嘉

非常な充実感を得た。機密情報、機密書類のデータ入

のファイリング、電話対応をはじめ、代議士や秘書の方々の挨拶回りやピラ配りに同行し、秘書業務の基礎を習得しました。他には国会議事堂で行われた

この2週間でスポーツを通して、多くの先輩や同級生と交流が深まりました。また、就職活動の準備も進んでいます。

この2週間でスポーツを通して、多くの先輩や同級生と交流が深まりました。また、就職活動の準備も進んでいます。

常に前進し、お客様に満足を

私は「地域に密着した仕事がしたい」という理由から、郵便事業株式会社の就職試験を受けました。その時には、ゼミ担当の中野健秀先生やキャリアセンターの方々に、いろいろアドバイスをいただいたのを覚えています。

現在は、郵便物の集荷や配達、それに営業活動を行っています。営業活動では郵便の知識を多く知り、お客様とのコミュニケーション能力が必要とされるので、不安な部分も多くありました。しかし、「ありがたい、勤めてくれたレターパックという商品使ってみただけで便利でよかったよ」、「またお願いしますよ」というお客様の声を聞くと、喜びとやりがいをとっても感じます。

これからはさらにいろいろな郵便商品の知識を身につけ、コミュニケーション能力を磨いていきたいです。常に前進し、一人でも多くのお客様に満足していただける社員を目指します。

大阪国際大学 経営情報学部経営情報学科09年卒 郵便事業株式会社 和歌山支店 第二集配営業課 堀田 恭兵

OB・OGレポート

園児たちとの達成感に喜び...

私は、中学生の頃から保育士になることが夢で、大阪国際大学短期大学部に進学しました。進学してからは、設定保育や手遊びやカード作り等、大いに活かすことができることを学びました。

2年次生になり就職活動が始まっても、幼稚園か保育園のどちらかに決めることができずに、ギリギリまでずっと悩みはしましたが、いろいろな園に見学に行ったことで、進路を決めることができました。現在は幼稚園で働き、年中組の担任をしています。実習では年少と年長しか関わったことがなく、年中と関わるのが初めてのことで、最初はすごく不安でした。毎日失敗ばかりで落ち込むこともたくさんありましたが、先輩の先生方が優しく指導してくださり、たくさん学ぶことができました。

4月から今日までの子どもたちの様子を比べると、制作で上手にはなりましたが、お弁当で苦しみを持てなかった子どもが持てるようになっていたり、身近で子どもの成長を感じることがあります。毎日大変ですが、何より子どもたちから元気な声かけをもらえます。子どもたちとともに何かに取り組み、それをやり遂げた後はなんともいえない達成感を感じることができてよかったなと思います。

大阪国際大学短期大学部 幼児保育学科保育科10年卒 学校法人谷野学園 春日東野幼稚園 吉田 育代

京都市障害者スポーツセンター 人間科学部スポーツ行動学科 3年次生 酒井 真衣子

ゼミで障がい者スポーツを勉強していたので、実際に現場で2週間インターンシップの研修をさせていただきました。私は、スポーツでは水泳を専

攻めているので、研修では主に水泳指導、水中エクササイズ、サポート、プール監視、水泳大会の補助役員を行いました。

指導するにあたって、「障がいがあるからできない」ということを考え、障がいがあるから、どうすればいいのか」ということを考えて、障がいのある方、ない方、両方ともサポートできるように指導したいです。

学園CALENDAR

大阪国際大学 大阪国際大学短期大学部	
12.23	年内終講(幼児保育以外)
12.24	年内終講(幼児保育)
平成23年	
1. 7	後期再開
1.18	創立記念日
1.24	後期終講(幼児保育以外)
1.25	補講・試験期間(幼児保育以外)~1/31
2. 1	後期終講(幼児保育)
2. 4	保育実習(幼児保育1)~3/27
2.21	追・再試験~23
3.15	卒業証書・学位記授与式(枚方)
3.16	卒業証書・学位記授与式(守口)
3.17	卒業証書・学位記授与式(短大)
大阪国際滝井高等学校	
12.18	保護者会(1,2年)~22
12.24	授業終了日
平成23年	
1.11	授業再開日、学年カルタ会
1.17	選抜カルタ会
1.18	創立記念日
1.21	国際科長期留学生出発
1.24	学力テスト(1・2特看)、 進路マップ(1・2標幼体吹)
1.27	学年末考査(3年)~31
1.31	授業終了(3年)
2. 1	マラソン大会(1,2年)
2. 6	吹奏楽コース定期演奏会
2.21	テーブルマナー講習(3年)
2.23	卒業式予行
2.24	卒業式
2.26	ニューサウンドコンサート
3. 2	学年末考査~7
3.11	春期講習開始
3.22	終業式
大阪国際大和田高等学校 大阪国際大和田中学校	
12.24	終業式
平成23年	
1. 8	始業式
1.18	創立記念日
1.22	カルタ大会(高校)
1.29	スピーチコンテスト(中学)
2.15	3年学年末考査(中学)~17
2.26	卒業式予行(高校)
2.28	卒業式(高校)
3. 1	学年末考査(高校)~7 学年末考査(中学)~3
3. 4	送る会(中学)
3. 5	卒業式(中学)
3. 9	スキー実習(中学1,2年)~13
3.11	海外研修出発~22
3.19	終業式
大阪国際大和田幼稚園	
12.20	お楽しみ会
12.24	終業式
平成23年	
1.11	始業式
1.18	創立記念日
2.19	生活発表会
2.24	H23年度 1日入園
2.25	個人懇談会~3/1
3. 3	年長お別れ会~4
3. 7	お別れ会(全体)
3.19	保育修了証書授与式
3.24	終業式

<大学・短大>守口キャンパス

優花祭 『無我夢中』 10月23日・24日



競技チアリーディング&エアロビク



いらっしやいませ~



人で埋め尽くされた中庭の野外ステージ

滝井高校 『この一瞬に青春を...』

文化祭 9月17日・19日



ステージですべてを燃焼!



どんなお客さんが来るかな



大阪名物ひたすら焼きます!

大和田中学 『We make the best 文化祭!』

文化祭 9月26日



3年生合同コーラス
「君とみた海」



追員の演技

秋のイベントでにぎわい

大学祭・文化祭

学年・学科の枠をこえて、学生・生徒たちが楽しむ晴れの行事、大学祭・文化祭が各キャンパスで行われた。日頃の成果を発表し、仲間たちと盛り上がる様々なシーンの一部をご紹介します。

<大学>枚方キャンパス

灯華祭 『盛り上がる事、風波の如し』

10月30日・31日



軽音楽部・フォークソング部合同ライブで
ステージイベントは幕開け



近隣の方もたくさん来場いただいた



ミス&ミスターOIUコンテスト優勝者

大和田高校 『熱く!はじける!!大和田生 ~地球に優しくエコでいこう~』

グローバル祭

9月12日



狙いを定めて...



フォークソング部と軽音楽部がセッション



調理室でクレープ作り真っ最中

幼稚園 赤がんばれ、白負けるな!



幼稚園の運動会は、10月9日に行われた。広い大学のグラウンドを使つてのびと元気いっぱい練習の成果を発揮する園児たちに、大きな声援が贈られた。



**世界バレーで
卒業生の山口選手が活躍!
火の鳥NIPPON
32年ぶりのメダル**

10月29日に開幕し日本各地で熱戦を繰り広げていた「2010女子バレーボール世界選手権」で、滝井高校の卒業生である山口選手(写真)が堂々の日本代表メンバーとして活躍した。

ポジションはウイングスパイカー。世界バレーでは11試合中10試合に出場、77得点を叩き出し日本チームの勝利に貢献した。日本は、11月14日の3位決定戦でアメリカをくだし、32年ぶりのメダルとなる銅メダルを見事獲得した。

山口選手は2002年に卒業。今年度全日本女子登録メンバーに、現滝井高校1年生(大和田中学卒)の宮下遙選手とともに選ばれている。また、2007年卒の吉田みなみ選手は、広州で開催されたアジア競技大会に全日本女子選抜メンバーとして出場した。3人はいずれも岡山シーガルズに所属。

本紙に記載の学年、肩書き等はすべて情報収集時のもので、発行時期と異なる場合があります。ご了承願います。
郵送不要の方、住所等の変更、本紙に関するご意見、ご感想等は総務課までご連絡下さい。電子メールでも活用下さい。



「大学の信頼性や認知度を高め、学生募集にも貢献した」として、09年度に学園から教職員表彰も受けた。

神戸大学医学部助手時代、留学したアメリカで「老化」を研究して、「たまたま脚と背中から取った汗の違い」がわかり、書いた論文がアメリカの生理学雑誌「Journal of Applied Physiology」に掲載され、脚光を浴びるようになった。この時のことを井上教授は「神がくれたチャンス」といふ。

研究テーマはほとんど広がり、いまは、人が生まれてから死ぬまでに発汗能力がどのように変化していくかを究明する「老若男女の体温調節」の研究を進めている。

「毎日6、7時間の睡眠をとる事を最優先し」、「残りは可能なかぎり教育研究にあてます」という。高校で野球部のショート、大学でラグビー部のフォワードを経験したスポーツマン。いまも週に2回くらい、大学から寝屋川の実家までジョギング、休みの日は、自宅のある神戸で奥さんと朝のウォーキングを楽しむ。毎日「ちよつとの寝酒程度」は欠かさない。学生には「卒業するまでに自分の色をみつけてほしい。一生を通じて打ち込めるものを」とアドバイスする。

ひと

熱中症対策などで
メディアからひっぱりだこ

井上 芳光教授

大人間科学部スポーツ行動学

このほか暑かった2010年の夏、テレビの報道番組などで、人間科学部スポーツ行動学部の井上芳光教授(56)は、ひっぱりだこだった。熱中症が社会問題化し、体温調節機能の研究をしている井上教授に科学的根拠を求め取材が集中した。

手振りや言葉、井上教授は高齢者がなぜ熱中症になりやすいかを話す。人間が歳を取るにつれ、脚、背中、胸、腕の順に汗をかかなくなっていくことをわかりやすく説明していく。

これまでに出演した番組は、NHKの「ためしてガッテン」や日本テレビの「世界一受けたい授業」、フジテレビの「とくダネー」など数多い。2010年はNHK「クローズアップ現代」にも出演した。10月には、アメリカのExperimental Physiologyに掲載された論文が、イギリスのBBCやアメリカのニューヨークタイムズなどのネットニュースにも紹介された。